

COMET

LB-400

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見
られるところに保管してください。

はじめに

このたびはLB-400をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいた上でご活用ください。

付属品

- 取扱説明書 本書
- 保証書

目次

1. 安全のため特にご注意ください	1~4
2. 使用上の注意とお願い	5
3. 各部の名称とはたらき	6~9
4. 操作手順	10~11
5. 充電器/ニッケル水素電池	12~15
6. 電池の残量表示	16
7. 保証とアフターサービス	17
8. 仕様	18~19
9. LB-400データガイド	20~21

1 安全のため特にご注意ください

- ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。
- 注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容（左図は感電注意）を示しています。



⊘記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図は分解禁止）を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください）を示しています。

お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。



警告

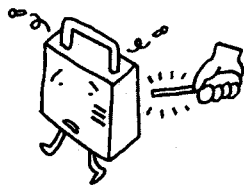


■修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

また、発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。

十分注意をしてください。



■水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用、また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。

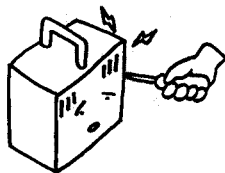


■電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。

■電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

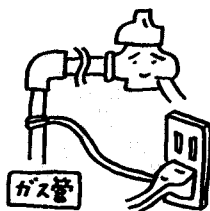
感電、ショートによる発火の恐れがあります。



■感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。

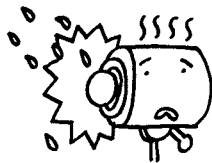
アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





- 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。

使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。取扱いには十分注意をしてください。



- ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクタに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。

プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

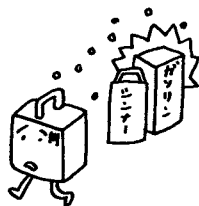


- ヘッドは発光時、高温の熱を発生します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。

火傷や火災の恐れがあります。



- 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。爆発、火災、火傷の恐れがあります。

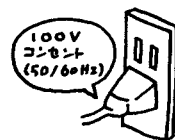


- 使用電圧はAC100~120/200~240V (50/60Hz) です。(充電器LB用)

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

- ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。

急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

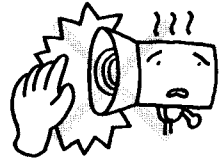




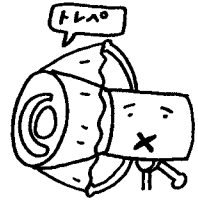
注意



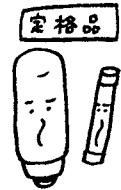
- 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。
火傷の恐れがあります。



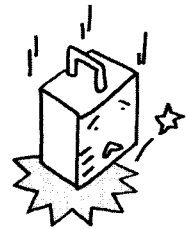
- ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用はしないでください。
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



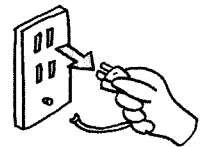
- ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。



- 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。
外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。

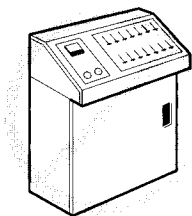


- 使用後は安全のために必ずACコードをコンセントから抜き取ってください。



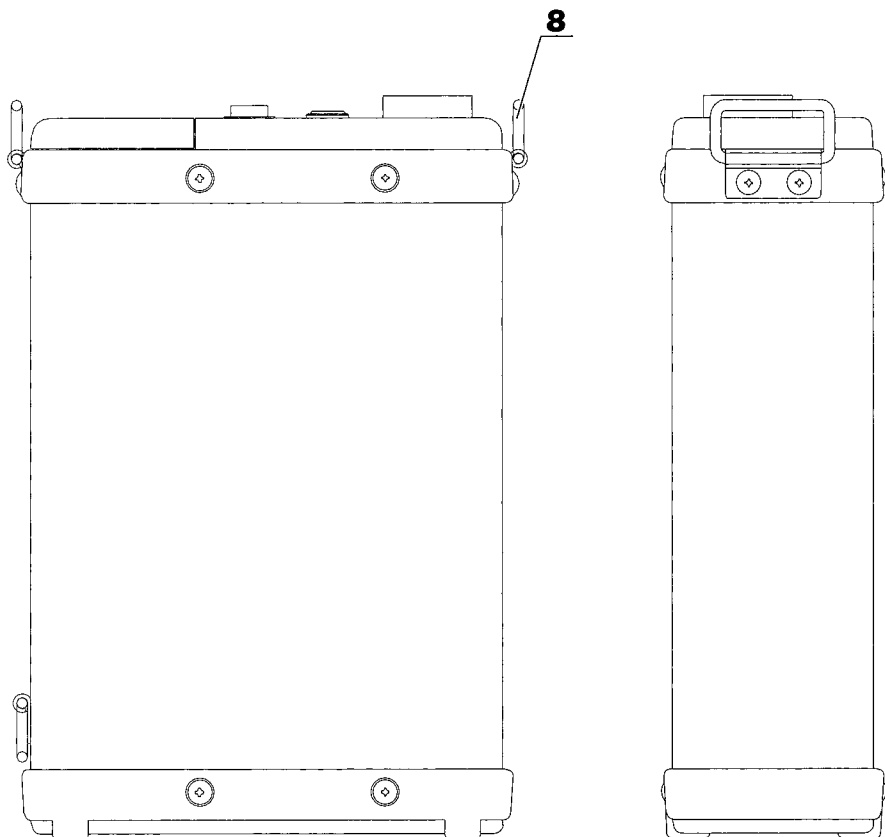
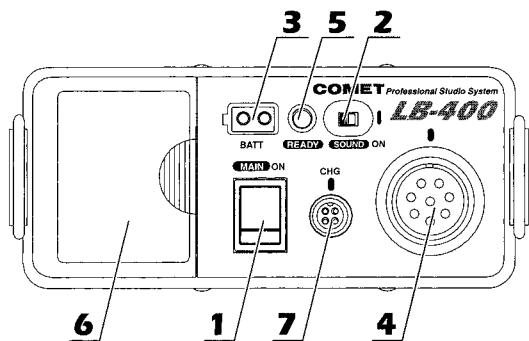
2 使用上の注意とお願い

- 調光器に接続しての使用はしないでください。
本機および調光器を破損する恐れがあります。



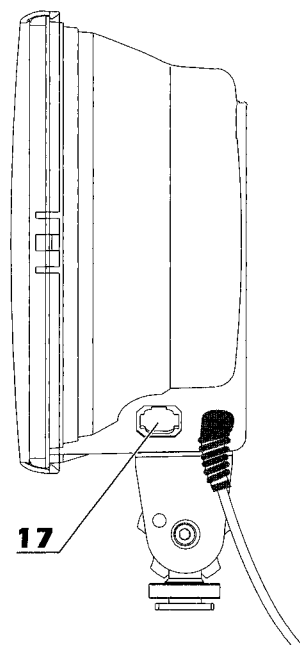
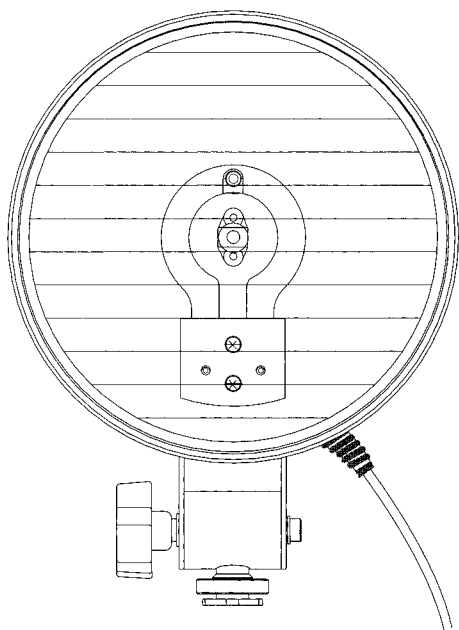
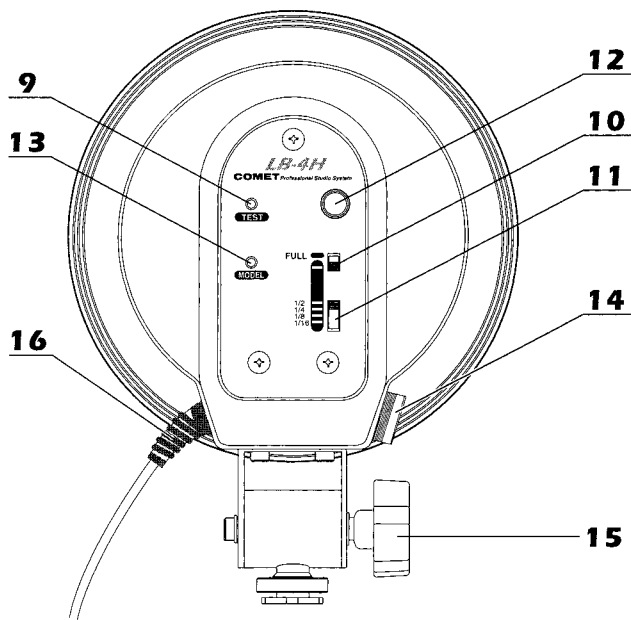
- ストロボ電源部は使用しないときでも1カ月に1～2度は必ず出力をFULLにして通電をしてください。
特に3カ月以上の長期にわたって使用しなかったときは、出力をFULLにして最低4時間通電をしてください。この間は絶対に発光させないでください。
長期間使用にならなかったストロボ電源部は、そのまま発光をくり返すとコンデンサーが発熱して破損することがあります。
- 赤外シンクロ装置（当社製）の受信機は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。
蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。
- 複数台のストロボ電源部を赤外シンクロ装置（当社製）で使用するときは、それぞれのストロボ電源部に受信器をセットしてください。

3 各部の名称とはたらき [電源部]

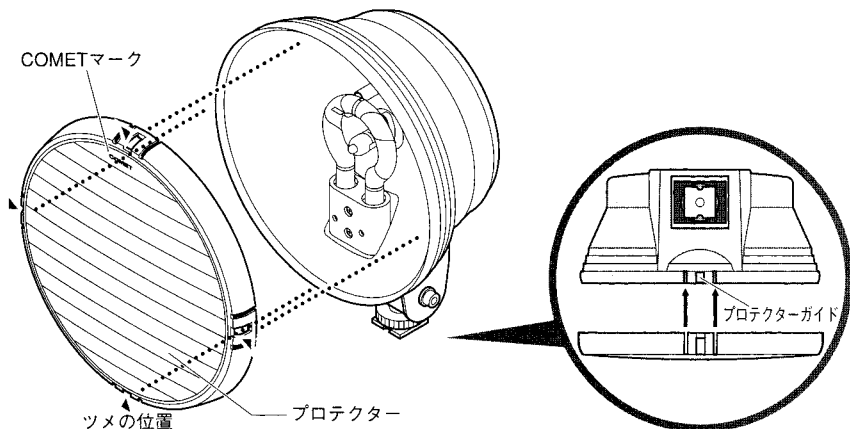


-
- 1** **メインスイッチ
(MAIN)** 電源スイッチです。使用後は必ず「OFF」にしてください。
 - 2** **サウンドスイッチ
(SOUND)** 充電完了ブザーの「ON/OFF」ができます。
 - 3** **バッテリーインディケーター
(BATT.INDICATOR)** 電池のおおよその残量を表示します。
(P-16参照)
 - 4** **出力コネクタ** LB-400ヘッド専用です。
 - 5** **充電完了ランプ
(READY)** 充電完了を表示します。
 - 6** **電池収納部** 電池カバーをスライドさせて、電池のソケットピンの位置を合わせて装着します。
 - 7** **電池充電コネクタ** 充電器NHC-2420を接続するコネクタです。
(P-12参照)
 - 8** **ハンガー** ショルダーストラップを取り付けます。

3 各部の名称とはたらき [ヘッド]



- 9 テスト発光スイッチ (FLASH)** 軽く押すと発光します。
- 10 調光スイッチ** フル出力または、調光出力を選択します。
- 11 出力バリエーター (VARIATOR)** 出力を1/2、1/4、1/8、1/16に切換します。
- 12 充電ランプ** このランプの点灯は、充電が100%ではありませんので、目安にしてください。
- 13 モデリングランプスイッチ (MODEL)** 軽く押すとモデリングランプが点灯します。指を離すと約8秒間点灯後、消灯します。
- 14 シンクロソケット** 付属のシンクロコードでカメラと接続します。
- 15 雲台固定ノブネジ** ヘッドの上下および左右の角度を固定します。
- 16 ヘッドコード/プラグ** LB-400電源と接続します。
- 17 機能拡張予備コネクター** 現在品は機能を有していません。



<プロテクターを取り外すとき>

プロテクターを取り外すときは、プロテクターのツメ（ツメの位置は4カ所あります）をひとつずつ外します。

<プロテクターを取り付けるとき>

LB-400ヘッド下部にあるプロテクターガイドとプロテクターのツメがしっかり合うようにして、プロテクターをヘッド本体にかぶせます。

4 操作手順

■ 1. メインスイッチの確認

メインスイッチ (MAIN) が「OFF」になっていることを確認してください。

※メインスイッチを「ON」のままで電池やヘッドプラグを差し込むと、プラグやコネクターを損傷します。

■ 2. ニッケル水素電池の装着

電池カバーを開けて、充電されているLB-400専用のニッケル水素電池を電源部の入力プラグに合わせて装着します。装着後、電池カバーを元に戻して下さい。

※取り出すときは、電池引き出しテープを持って引き出してください。

■ 3. ヘッドの接続

出力コネクターにヘッドコードのプラグを正しく差し込み、必ず固定リングで固定してください。

【お願い】

- ヘッドプラグの着脱は、必ずメインスイッチを「OFF」にしてから行ってください。「ON」のままで差し込むとコネクターのピンを損傷することがありますのでご注意ください。
- ご使用にならないときは安全のため、ヘッドコードのプラグを抜き取って下さい。
- 本機は安全のため、ヘッドプラグを差し込まないとメインスイッチを「ON」にしても、電源部の充電をしないようになっています。

■ 4. シンクロコードの接続

付属のシンクロコードでLB-400ヘッドのシンクロソケットとカメラのシンクロターミナルを接続します。

■ 5. 充電の開始

メインスイッチを「ON」にすると充電がはじまり、数秒後に充電完了ランプが点灯します。サウンドスイッチを「ON」にしておくと、充電完了と同時に電子音で知らせます。

※ヘッドを接続しなければ充電しません。

※ヘッドの充電ランプは充電の目安です。100%完了ではありません。

■ 6. 出力の設定

LB-400ヘッドのバリエーターと調光スイッチで出力を選択してください。

■ 7. 発光の確認

LB-400ヘッドのテスト発光スイッチを押して発光することを確認してください。

■ 8. カメラとのシンクロを確認

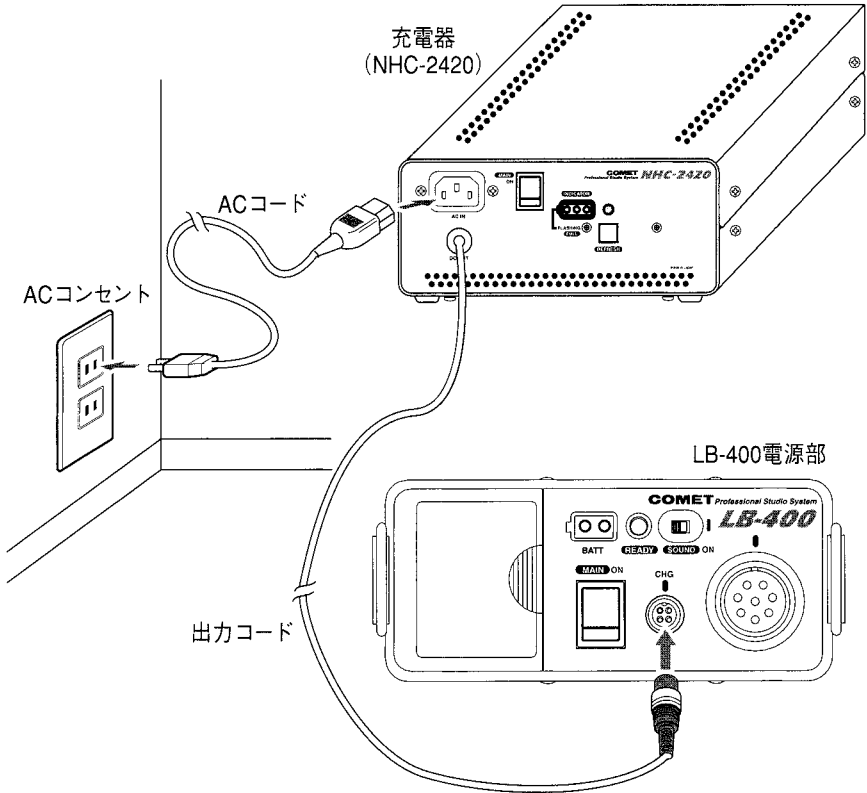
シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをして下さい。

【お願い】

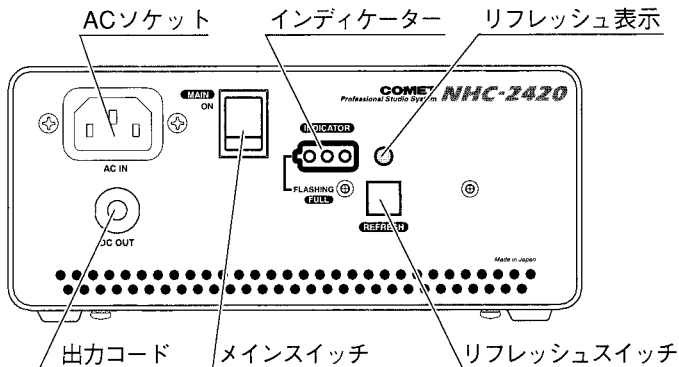
- 本番撮影をされる前に、実際のフィルムまたはインスタントフィルム等で、カメラのシンクロ（同調）テストをされることをお奨めします。
- 「先幕シンクロモード」で撮影する場合、シャッタースピードは1/60秒よりも遅いシャッタースピードでご使用ください。
- 「後幕シンクロモード」で撮影した場合、シャッタースピードとは関係なく写真に露光ムラが生じることがあります。

5 充電器／ニッケル水素電池

■ 充電器（NHC-2420）の接続方法と各部の名称



■ 充電器



■ 電池の充電方法

1. 充電器のメインスイッチ（MAIN）とLB-400電源部のメインスイッチ（MAIN）が「OFF」になっていることを確認したうえで、充電器とLB-400電源部を出カコード（充電器付属品）で接続します。
2. 充電器のACソケットにACコードをしっかりと差し込みます。
次にACコンセントに接続します。
3. 充電器のメインスイッチ（MAIN）を「ON」にするとインディケータ1灯が点灯し、充電が開始します。
4. 充電器のインディケータが3灯点滅すると充電完了です。
充電は約1時間で完了します。

■ リフレッシュ機能

発光回数がメモリー効果等で所定の回数まで発光しなくなったときに使用します。

<操作方法>

電池の充電方法と同じに一旦、充電を開始します。

その状態でリフレッシュスイッチを押すと、リフレッシュ表示が点灯して、放電を開始します。電池の電圧が所定の電圧まで下がると放電を停止して、通常の充電を開始します。

<解除方法>

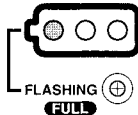
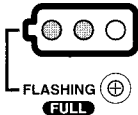
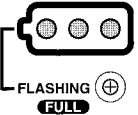
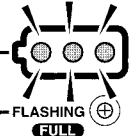
リフレッシュを途中で中止するときは、メインスイッチを「OFF」にしてください。メインスイッチを「ON」にすると、通常の充電が開始します。



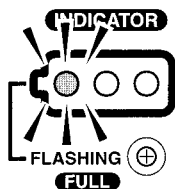
注意

- 満充電の電池をリフレッシュすると数時間かかりますので、極力、電池が空の状態で使用してください。
- 電池を充電する場合、LB-400電源部のメインスイッチを「OFF」にして行ってください。
- 充電しながらのストロボの使用は避けてください。
機器類の故障の原因になります。

■ 充電表示について

1. 充電開始	2. 充電中	3. 充電中	4. 充電終了
 <p>電池を接続してメインスイッチを「ON」にすると、インディケータのランプが1個点灯し、充電がはじまります。</p>			 <p>充電が完了すると、3個のランプが点滅し、同時に約4秒間ブザーが鳴ります。</p>
<p>放電した電池は約1時間で充電が完了します。</p>			

ご注意ください



充電表示ランプが1個点滅するときは、次のような場合です。

- ①電池を接続せずにAC電源が投入されている
→直ちに電源を「OFF」にする
- ②電源を連続使用したあとで、内部温度が高い
→温度が下がるのを待つ
- ③出力コードが不良
→要修理

■ 専用充電器（NHC-2420）の海外使用時の場合

充電器は、AC100～120V/200～240Vの地域でご使用になれます。



注意

- 海外で使用する場合、使用先の電源コンセントに合った変換プラグをご使用ください。

■ 充電器出力プラグの脱着

充電器の出力プラグをLB-400から抜くときは、プラグのロックリングを持って、抜いてください。ロックが解除され、プラグが抜けます。

■ 電池の取扱について

1. 充電について

- ・ 充電時の周囲温度は10℃～40℃の範囲内で行ってください。
特に効率がよいのは、10℃～30℃です。
- ・ 10℃以下、あるいは40℃以上では充電効率が低下し、充分充電されないばかりでなく、性能劣化や液漏れの原因になることがあります。

2. 使用温度について

- ・ 使用温度は0℃～45℃の範囲内で使用してください。
0℃以下や45℃以上では電池容量が少なくなり、所定の発光回数が得られなかったり、性能劣化の原因となることがありますのでご注意ください。

※LB-400を低温環境でご使用になる場合は、事前にテストをして光量測定をしてください。
低温時の場合、所定の性能を発揮しない恐れがありますのでご注意ください。

3. 保存について

- ・ 保存温度は-10℃～30度の範囲内で、乾燥した場所を選んでください。
- ・ 長期にわたる保存は自己放電や電池内部の不活性化により、初回充電では十分に充電されないことがあります。その場合、充放電を繰り返すことにより、特性が回復します。
- ・ 保存期間が1～3ヶ月以内の場合、電池はFULLまたは放電状態どちらでもかまいません。
- ・ 保存期間が3ヶ月を越える場合には、放電状態で保存することが理想です。
- ・ 6ヶ月以上長期保存の場合は、自己放電による性能劣化や液漏れ防止のため、最低3ヶ月に1回は充放電を数回繰り返し行ってください。

4. 電池の発熱について

- ・ 連続発光したのち、電池が発熱していて充電しない場合があります。これは電池内部に温度センサーを内蔵しているため、電池の内部温度が所定温度を超えると電池保護のため、回路が切れるようになっています。

電池を充電器(NHC-2420)につないで充電開始後、充電器の充電表示ランプが点滅する場合は、いったん充電を止めて、電池の温度が下がるのを待ってください。

5. 長時間の放置について

- ・ 充電した電池を長時間放置しておくとも自然放電します。この場合、使用する直前に再度充電を行ってください。

6 電池の残量表示

電池の残量は2個のランプで表示します。

十分に活性化された電池をFULL充電したときは、150回以上（FULL出力時）の発光ができますが、残量表示ランプと発光回数の関係は目安として下記のようになります。

バッテリーインディケータ	発光回数
残量表示ランプ2個点灯時	150～100回以上
残量表示ランプ1個点灯時	100～ 20回以上
全部消灯後（EMPTY）	数回以上の発光ができます

上記の発光回数は電池が十分に活性化されているものを使用した場合です。

ご購入時や長期間（1ヶ月以上）使用されなかった場合はFULL充電を行っても所定の発光回数が得られないことがあります。

この場合は数回、リフレッシュと充電を繰り返すことにより回復します。

※インディケータ全部消灯後、電池の端子電圧が規定電圧以下になると、発光をストップします。このような場合は使用を止め、電池を充電してください。



注意

- 電源部が充電完了した後、メインスイッチを一度「OFF」にして、再び「ON」にすると、電池残量表示が「FULL」表示になりますが、故障ではありません。この場合は、一度発光させると正しい表示になります。
- 電池が0℃前後まで冷えると、電池の充電状態とは関係なく、ストロボの充電ができないことがあります。このような場合には電池を室温（20℃～25℃）になるように電池を暖めてください。
- 電池を暖めるときは、直火にあてたり温湯をかけたりしないでください。感電や故障の原因になります。

7 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリ以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメント製品は、嚴重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、ご使用中のACコード、シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

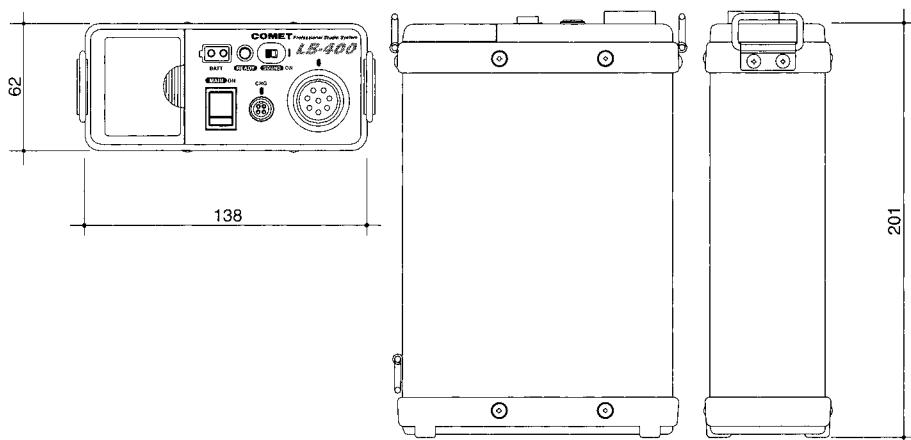
修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

仕様 [電源部] [ヘッド] [充電器]

[電源部]

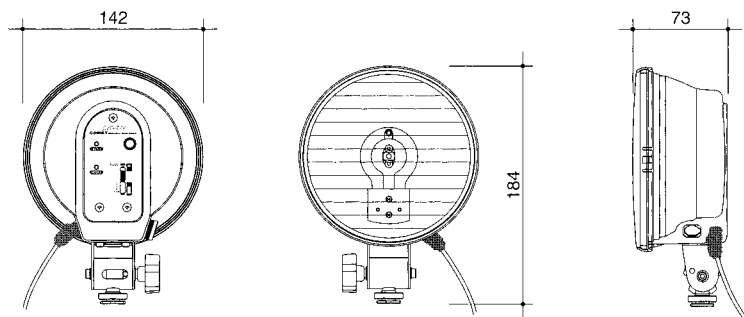
品名	LB-400電源部
型式	LB-400
最大出力	400Ws
出力切換	400/200/100/50/25Ws
切換方式	シリーズカット調光方式
出力設定	ヘッドの切換スイッチで設定（電源部にはスイッチなし）
電池	ニッケル水素電池（NHB-2420）
充電時間	3.5秒（400Wsで電池フル充電時）
発光回数	約150回（電池フル充電時）
残量表示	2個のLEDで表示
電池充電	①電池内蔵状態で外部から充電する ②電池を取り出して充電する
電池装置	ホールインワン方式
シンクロリモート	なし（ヘッドにリモートセンサー（別売）取付可能）
シンクロソケット	なし（ヘッドに装備）
充電完了ランプ	あり（充電途中の発光可能、但し全光量は出ません）
モデリングスイッチ	なし
充電サウンドスイッチ	完了音/OFF
寸法	138（w）×62（d）×201（h）
重量	1.2kg（電池・ベルト含まず）／電池740g



- 本仕様は2005年7月現在のものです。
改良のため予告なく変更することがありますのであらかじめご了承ください。

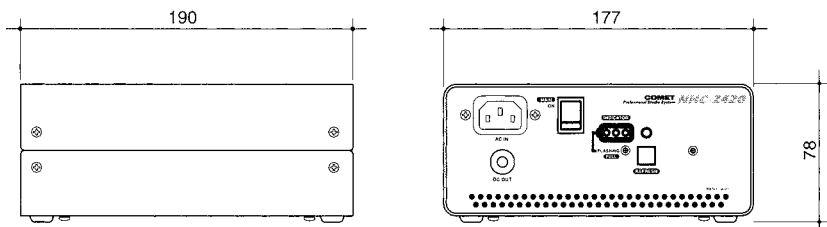
[ヘッド]

品名	LB-400ヘッド
型式	LB-4H
最大入力	400Ws
ガイドナンバー	56 (ISO・100/m)
照射角度	63度
シンクロソケット	CXシンクロコード中間ソケットタイプ
充電表示ランプ	あり
モデリングスイッチ	あり (押してから、約8秒間点灯)
寸法	142 (φ) × 73 (d)
重量	560g (コード含む)



[充電器]

品名	充電器 (LB用)
型式	NHC-2420
定格電圧	AC100~120V/200~240V
充電時間	1時間
リフレッシュ機能	あり (リフレッシュ時間、約4時間)
寸法	177 (w) × 190 (d) × 78 (h)
重量	1.3Kg



② LB-400データガイド

出力目盛	ストロボ出力	GN (ISO・100/m)	充電時間(秒)	閃光時間(秒)	色温度(秒)	発光回数 (発光間隔)
1/1	400Ws	56	3.5	1/800	6010	150(7秒)
1/2	200Ws	40	1.8	1/800	6180	400(4秒)
1/4	100Ws	28	1.1	1/1800	6260	800(4秒)
1/8	50Ws	20	0.8	1/3600	6290	1500(3秒)
1/16	25Ws	14	0.7	1/6400	6500	2400(3秒)

[露出ガイド表]

(ISO・100)

ストロボ出力	1	1/2	1/4	1/8	1/16
f値 \ GN	56	40	28	20	14
2.8	20m	14m	10m	7m	5m
4	14m	10m	7m	5m	3.5m
5.6	10m	7m	5m	3.5m	2.5m
8	7m	5m	3.5m	2.5m	1.7m
11	5m	3.5m	2.5m	1.7m	1.2m
16	3.5m	2.5m	1.7m	1.2m	0.8m

(ISO・160)

ストロボ出力	1	1/2	1/4	1/8	1/16
f値 \ GN	70	50	35	25	18
2.8	25m	17.5m	12.5m	8.7m	6.3m
4	17.5m	12.5m	8.7m	6.3m	4.4m
5.6	12.5m	8.7m	6.3m	4.4m	3m
8	8.7m	6.3m	4.4m	3m	2m
11	6.3m	4.4m	3m	2m	1.5m
16	4.4m	3m	2m	1.5m	1m



(ISO・400)

ストロボ出力	1	1/2	1/4	1/8	1/16
f値 \ GN	110	80	56	40	28
2.8	40m	28m	20m	14m	10m
4	28m	20m	14m	10m	7m
5.6	20m	14m	10m	7m	5m
8	14m	10m	7m	5m	3.5m
11	10m	7m	5m	3.5m	2.5m
16	7m	5m	3.5m	2.5m	1.7m

※距離は目安として下さい。

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

	愛情点検 こんな症状はありませんか		このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。
	<ul style="list-style-type: none"> ●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとビリビリと電気を感ずる ●その他の異常や故障があるとき 		

●ストロボ電源部、ヘッドは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。

取扱説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1~2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®

コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0805	札幌市中央区南5条西12丁目	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台4-29-25 サンエイハイム101	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 コマーシャル課	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
東京営業所 デジタルイメージング	〒135-0023	東京都江東区平野 2-16-20	TEL.(03)5245-3831	FAX.(03)5245-3835
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市中区千種区内山3-1-1 桜通内山ビル1F	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江 2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0051	広島市中区江波西1-7-16 リラハイツ	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8622	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリック部 本部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3234-5081	FAX.(03)3234-1356
産業機器部	〒102-0071	東京都千代田区富士見 1-4-6	TEL.(03)3264-8692	FAX.(03)3264-8624